

訂正 (Corrigendum)

第70巻12号 (2023年12月15日発行)「青山友子, 他. 日本人における自己申告による身体計測値の正確性: スコーピングレビュー」において, 以下の箇所に一部誤りがありました。お詫びとともに下記のとおり訂正いたします。

	【誤】	【正】 下線部分が訂正箇所
p. 817 (和文抄録) 結果 7行目～	成人を対象とした4つの研究は, 自己申告身長・体重に基づいたBMIを用いると, 肥満の14.2～37.6%, やせの11.1～32.3%が普通体重 ($18.5 \leq \text{BMI} < 25 \text{ kg/m}^2$) に誤分類され, 普通体重の0.8～5.4%および1.2～4.1%が, それぞれやせおよび肥満に誤分類されることを示した。	6つの研究は, 自己申告身長・体重に基づいたBMIを用いると, 集団における肥満者の割合は一貫して過小評価 (～7.6ポイント) されるのに対して, やせの者の割合はしばしば過大評価 (～5.2ポイント) されることを示した。
p. 817 (和文抄録) 結論	自己申告による身長と体重に基づくBMIを用いると, 日本人では集団における肥満とやせ両方の有病率を過小評価する可能性がある	自己申告による身長と体重に基づくBMIを用いると, 日本人では集団における肥満者の割合を過小評価する一方, やせの者の割合をしばしば過大評価する可能性がある
p. 822 左段 2行目～	BMIは大部分で過小評価 (87% [15件中13件]) されていた。	BMIは大部分で過小評価 (87% [15件中13件]) されていた。しかし, 集団でみると, 肥満者の割合は一貫して過小評価 (～7.6ポイント) されるのに対して, やせの者の割合は過大評価 (～5.2ポイント) されやすかった。
p. 824 右段 最終行～	実際にはやせや肥満であるのに普通体重に誤分類された結果, 集団における肥満ややせの者の割合が過小評価されると解釈できる。	実際にはやせや肥満であるのに普通体重に誤分類されやすいと解釈できる。しかし, 実際には普通体重であるのにやせや肥満に誤分類される者は, 割合としては低いものの, 人数では, (普通体重の者が圧倒的に多いため) 実際にはやせであるのに普通体重に誤分類される者よりしばしば多くなる。その結果, 集団全体でみるとやせの者の割合はむしろ過大評価されやすいようである。
p. 825 右段 5行目～	自己申告による身長と体重に基づくBMIを用いると, 集団における肥満ややせの者の割合が過小評価される可能性があることから,	自己申告による身長と体重に基づくBMIを用いると, 集団における肥満者の割合が過小評価される一方, やせの者の割合は過大評価されやすい可能性があることから,
p. 827 (英文抄録) Results 8行目～	Four studies in adults showed that, 14.2–37.6% of actually obese individuals and 11.1–32.3% of underweight individuals were misclassified as ‘normal range’ ($18.5 \leq \text{BMI} < 25 \text{ kg/m}^2$) based on self-reporting, while 0.8–5.4% and 1.2–4.1% of individuals actually within the normal range were misclassified as ‘underweight’ and ‘obese’ based on self-report, respectively.	Six studies showed that when BMI based on self-reported height and weight was used, the prevalence of obesity was consistently underestimated (by up to 7.6 percentage points), while the prevalence of underweight was often overestimated (by up to 5.2 percentage points).
p. 827 (英文抄録) Conclusion	This study suggests that using BMI based on self-reported height and weight can underestimate the prevalence of both obesity and underweight in the Japanese population.	This study suggests that using BMI based on self-reported height and weight can underestimate the prevalence of obesity, and overestimate the prevalence of underweight in the Japanese population.

【正】下線部分が訂正箇所

表2 日本人における自己申告による身体計測値の平均申告誤差（申告値の平均－実測値の平均），およびやせ・肥満者の割合の誤差（申告値に基づく割合－実測値に基づく割合）

著者（出版年）	身長（cm）		体重（kg）		BMI（kg/m ² ）		やせ （ポイント）		肥満 （ポイント）	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
Yong ら（2012） ¹¹⁾	△0.9***	△1.2***	▼1.1***	▼0.9***	▼0.7***	▼0.8***	△2.9	△2.6	▼7.5	▼7.6
Yazawa ら（2020） ¹²⁾	△0.3	△0.4	△0.1	△0.2	▼0.03	▼0.04	▼0.2	▼1.7	▼1.8	▼1.6
Kamide ら（2019） ¹³⁾	△0.2 ^{NS}	△0.2*	▼0.3*	△0.2*	▼0.2**	△0.03 ^{NS}				
Nakagata ら（2022） ¹⁴⁾	—	—	△0.3	△0.5	—	—				
Okamoto ら（2017） ¹⁵⁾	△0.3**	△0.1*	△0.4**	△0.4**	△0.1**	△0.2**				
Ikeda（2016） ¹⁶⁾	△0.9***	△1.4***	▼0.2**	▼0.6***	▼0.3***	▼0.7***	△0.02	△2.0	▼4.0	▼6.4
川田 ら（1994） ¹⁷⁾	1992年	△0.3**		▼0.1**		▼0.1**				
	1991年	△0.2**		▼0.4		▼0.2**				
Anai ら（2015） ¹⁸⁾	△0.01*	▼0.2*	▼0.7*	▼0.7*	▼0.3*	▼0.2*				
Wada ら（2005） ¹⁹⁾	△0.1**	△0.03 ^{NS}	▼0.03 ^{NS}	△0.02 ^{NS}	▼0.04*	▼0.002 ^{NS}	▼0.2	△0.6	▼1.2	▼0.9
Inoue ら（2007） ²⁰⁾	△0.3	△0.1	0.0	▼0.2	▼0.1	▼0.1				
Nakamura ら（1999） ²¹⁾	—	▼0.1**	—	▼0.2*	—	▼0.1 ^{NS}				
奥田 ら（2012） ²²⁾	▼0.03 ^{NS}	▼0.01 ^{NS}	▼0.6 ^{NS}	▼0.5*	▼0.2 ^{NS}	▼0.2*				
竹田 ら（2002） ²³⁾	—	△0.4	—	▼0.8	—	▼0.4				
白石 ら（1991） ²⁴⁾	20歳	▼0.4	▼0.3	—	—	—				
	16歳	▼0.2	▼0.2	—	—	—				
廣原 ら（2005） ²⁵⁾	△0.3	0.0	▼0.4	▼0.9	▼0.2	▼0.4				
西沢 ら（2002） ²⁶⁾	高校生	△0.1 ^{NS}	△0.1 ^{NS}	▼0.7**	▼0.7 ^{NS}	▼0.2*	▼0.3*	△3.8	▼3.4	
	中学生	▼0.6*	▼0.1 ^{NS}	▼1.1**	▼0.5*	▼0.3***	▼0.2*	△5.2	▼1.2	
Yoshitake ら（2012） ²⁷⁾	▼0.5	▼0.2	▼0.1	▼0.3	△0.1	▼0.1	0.0	0.0	▼0.5	0.0

△は+，すなわち過大申告（評価）を示す。▼は-，すなわち過小申告（評価）を示す。

^{NS} non-significant; * $P < 0.05$; ** $P < 0.01$; *** $P < 0.001$.

BMI, body mass index.

【誤】

表2 日本人における自己申告による身体計測値の平均申告誤差（申告値の平均－実測値の平均）

著者（出版年）	身長（cm）		体重（kg）		BMI（kg/m ² ）		
	男	女	男	女	男	女	
Yong ら（2012） ¹¹⁾	△0.9***	△1.2***	▼1.1***	▼0.9***	▼0.7***	▼0.8***	
Yazawa ら（2020） ¹²⁾	△0.3	△0.4	△0.1	△0.2	▼0.03	▼0.04	
Kamide ら（2019） ¹³⁾	△0.2 ^{NS}	△0.2*	▼0.3*	△0.2*	▼0.2**	△0.03 ^{NS}	
Nakagata ら（2022） ¹⁴⁾	—	—	△0.3	△0.5	—	—	
Okamoto ら（2017） ¹⁵⁾	△0.3**	△0.1*	△0.4**	△0.4**	△0.1**	△0.2**	
Ikeda（2016） ¹⁶⁾	△0.9***	△1.4***	▼0.2**	▼0.6***	▼0.3***	▼0.7***	
川田ら（1994） ¹⁷⁾	1992年	△0.3**		▼0.1**		▼0.1**	
	1991年	△0.2**		▼0.4		▼0.2**	
Anai ら（2015） ¹⁸⁾	△0.01*	▼0.2*	▼0.7*	▼0.7*	▼0.3*	▼0.2*	
Wada ら（2005） ¹⁹⁾	△0.1**	△0.03 ^{NS}	▼0.03 ^{NS}	△0.02 ^{NS}	▼0.04*	▼0.002 ^{NS}	
Inoue ら（2007） ²⁰⁾	△0.3	△0.1	0.0	▼0.2	▼0.1	▼0.1	
Nakamura ら（1999） ²¹⁾	—	▼0.1**	—	▼0.2*	—	▼0.1 ^{NS}	
奥田ら（2012） ²²⁾	▼0.03 ^{NS}	▼0.01 ^{NS}	▼0.6 ^{NS}	▼0.5*	▼0.2 ^{NS}	▼0.2*	
竹田ら（2002） ²³⁾	—	△0.4	—	▼0.8	—	▼0.4	
白石ら（1991） ²⁴⁾	20歳	▼0.4	▼0.3	—	—	—	
	16歳	▼0.2	▼0.2	—	—	—	
廣原ら（2005） ²⁵⁾	△0.3	0.0	▼0.4	▼0.9	▼0.2	▼0.4	
西沢ら（2002） ²⁶⁾	高校生	△0.1 ^{NS}	△0.1 ^{NS}	▼0.7**	▼0.7 ^{NS}	▼0.2*	▼0.3*
	中学生	▼0.6*	▼0.1 ^{NS}	▼1.1**	▼0.5*	▼0.3***	▼0.2*
Yoshitake ら（2012） ²⁷⁾	▼0.5	▼0.2	▼0.1	▼0.3	△0.1	▼0.1	

△は+，すなわち過大申告（評価）を示す。▼は-，すなわち過小申告（評価）を示す。

^{NS} non-significant; * $P < 0.05$; ** $P < 0.01$; *** $P < 0.001$.

BMI, body mass index.